

IoT検定



IoTにかかわるすべての人へ
IoTの全スキルを
見える化する検定試験

3つのポイント～IoT検定

ポイントその1

技術だけじゃない、○○○○の視点も!

IoT検定は技術的な視点に加えて、マーケティングやサービスの提供など、ユーザーの視点から必要となる領域をすべて網羅しています。

ポイントその2

IoTスキルの全領域をカバー

IoT検定はセキュリティや法律など、必要なスキルを8つの分野にカテゴリ化。幅広いIoTをすべて整理・体系化してスキルを確認することができます。

ポイントその3

IoTスキルを共通言語化

IoT検定は、技術者・経営者・製品企画などそれぞれの立場でIoTを企画・開発・利用するために必要な知識があることを、共通の基準で認定します。

4つの職業・役職の方に特におすすめです!



自社のビジネスにIoTを導入し、健全な経営で会社を成長させたい!

経営者・管理者



IoTの新規プロジェクトはやりがいがあり、成功させて評価アップしたい!

IoTプロジェクトマネージャー



幅広い知識とスキルを身につけ、自動化したシステムの開発に携わります!

開発エンジニア



消費者や製品の動向をデータ分析し、顧客へ迅速かつ、有益な提案をしたい!

企画・営業職

スポンサー・パートナーシップ企業

スポンサー企業



KT-NET

GMO CLOUD



ARCTEC
Applied Radio & Computing Technology

パートナーシップ企業



技術者執

IoT
IoTNEWS

Tech
Factory

オートメーション新聞
AUTOMATION NEWS

受験に役立つ参考書や模擬問題などの情報を掲載しています。

IoT検定公式サイト <http://www.iotcert.org/>

ご希望の方にはメールでIoTに関する最新情報をお届けします。詳しくはこちらから



試験主催

IoT検定制度委員会

IoTは21世紀の牽引役

IoT検定制度委員会 委員長 中島 洋
国際大学 グローバルコミュニケーションセンター 教授

情報処理技術はムーアの法則に則り、10年で100倍、20年で1万倍というペースで進展をしています。一方、通信技術は10年で1,000倍、20年で100万倍ですので、情報処理技術より通信技術の方が進化が速いことになります。いずれ情報処理技術は通信技術の中に包含されるでしょう。これは要するにネットワークをベースに情報社会が動くということです。ネットワークが情報インフラの中心になっていき、その牽引役がIoTになるという流れにあります。

そして肝心なのが人材です。IoTに関わる要素技術は数多く、しかもそれぞれが発展しています。IoTに関わる技術を発展させたり、IoTを事業に取り入れたりするには、こうした要素技術をインテグレーションする能力を持つ人々を大量に作らないといけません。早急に、IoTに関わる能力を意図的そして戦略的にスキルアップしていく必要があります。

IoT検定で出題するのは、現在重要かつ10年先も重要なベースとなる知識を問う内容で構成しています。医療のIoT、自動車のIoT、家電を使用したIoT、電力のIoTなど異なる応用分野でも、共通の必須事項はあります。IoTに関わる人たちが次に成長するために、時代に合った新たな知識をIoT検定に加えていくつもりです。

『日経テクノロジーオンライン』記事(2016年5月23日掲載)より抜粋

検定詳細

～レベル1 プロフェッショナル・コーディネータ～

試験概要

試験はCBT(Computer Based Testing) によって実施。受験者は会場に用意されたコンピュータから出題される問題に解答する形式です。なお、試験結果はその場で確認することができまして、合格者には後日、正式な証明書が届きます。

試験時間

60分

合格基準

60%以上の正解で合格

出題形式

四肢選択式 70問

受験料

10,800円(税込)

出題範囲

戦略とマネジメント

- 企画推進・戦略立案のための基礎知識
- プロジェクトマネジメントに関する知識
- 人材育成と企業間連携に関する知識

産業システムと標準化

- 産業システム・スマート製品に関する知識
- 世界各国におけるIoT推進プロジェクトに関する知識
- IoT関連の標準化に関する知識

法律

- 通信関連の法律に関する知識
- 製品の製造および使用に関連する法律に関する知識
- オープンソースのライセンスおよび知的財産に関する知識

ネットワーク

- データ送信プロトコルに関する知識
- WAN(広域エリアネットワーク)に関する知識
- LANおよびPAN(Personal Area Network)に関する知識

IoT デバイス

- 小型制御装置に関する知識
- 電子工学に関する知識
- センサ技術に関する知識
- IoTにおけるスマートフォン活用に関する知識

IoT プラットフォーム

- クラウド環境利用に関する知識
- 分散処理システム利用に関する知識

データ分析

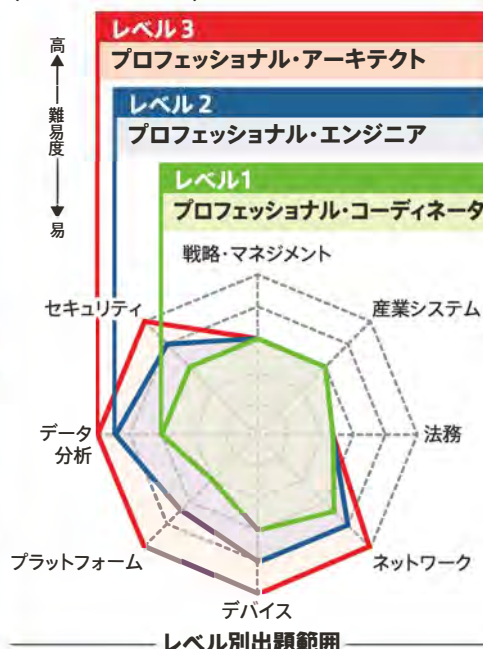
- データベースに関する知識
- 機械学習および人工知能に関する知識

セキュリティ

- 暗号化に関する知識
- 攻撃対策に関する知識
- 認証技術に関する知識
- システムの監視・運用に関する知識

試験体系

試験体系は次の3つのレベルを行うものとします。
(レベル2・3は準備中)



資料請求・お問合せ先

IoT検定制度委員会 検定運営事務局 (株式会社サートプロ内)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-55-2 大和ビル5階

TEL:03-6276-1168 E-mail:info@iotcert.org(9:00AM~5:30PM 土・日・祝・弊社指定休日を除く)

試験のお申込みはこちら

<http://it.prometric-jp.com/testlist/iot/index.html>

試験は日本国内100都市、150か所展開するプロメトリック試験会場にて。お近くで受験いただけます。

IoT プロメトリック

検索